

阪大歯と地域自治体との「健口イベント」第2弾 東大阪市主催「HANAZONO EXPO 2023」に出展
認知度の低い「口腔機能発達不全症」「口腔機能低下症」を楽しく意識付け！

スマホゲームアプリで「お口の健康（健口）づくり」のきっかけに！

【11/3（金・祝） @東大阪市 花園中央公園】

■概要：

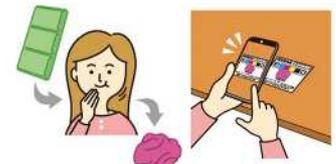
大阪大学大学院歯学研究科（研究科長：西村理行）のイノベティブ・デンティストリー推進センター（センター長：今里 聡）は同研究科の「産学連携・社会共創」を担っています。この度、「HANAZONO EXPO 2023」に参加し（本出展は2023年11月3日のみ）、まだまだ国民に認知度の低い「口腔機能発達不全症」ならびに「口腔機能低下症」を“遊びながら楽しく意識付け”するイベントを開催します。イベントを主催する東大阪市とは、2019年から協定を締結しています。

■イベント内容：

今回は子どもから高齢者まで全ての年齢を対象に東大阪市のマスコットキャラクター「トライくん」に顔はめをして、「お口の体操」であるパタカラを発音するゲームアプリで楽しく遊びながら「口の機能」を意識付けするイベントを行います。また色の



東大阪市版(トライくん)のゲームアプリ



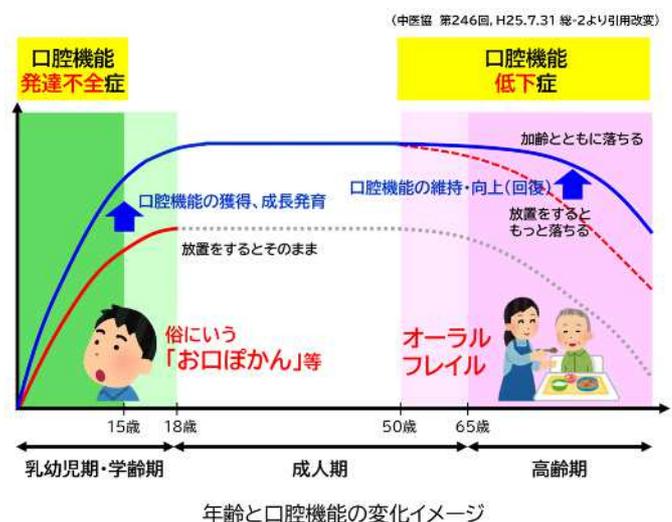
帰宅後、ガムの色で「咀嚼チェック」

の変化で「食べる能力（咀嚼能力）」を測定できる「キシリトール 咀嚼チェックガム（ロッテ社）」をお土産にします（先着400名予定）。イベントでの「健口ゲームの体験」と自宅での「咀嚼チェック」が参加者の「健口づくり」のきっかけにつながればと考えています。

つきましてはお時間があれば是非、当日の取材を何卒宜しくお願い申し上げます。また事前/事後のインタビュー等も承ります。

■背景：

歯科といえば、「むし歯」や「歯周病」といった「感染症」と戦うイメージが強いですが、近年、それらの病気に加えて「食べる/話す」等の「お口の機能」を見守る医療が加わりました。「口の機能が衰える病気」として、公的な医療保険では「子どもは口腔機能発達不全症」、「高齢者は口腔機能低下症」があります。平成23年（2011年）度に施行された「歯科口腔保健の推進に関する法律」の規定に基づく基本的事項をみても、「国民の生涯を通じて、口腔機能の維持・向上を図ること」が明記され、乳幼児期・学齢期では「適切な口腔機能の獲得、成長発育」が、成人期・高齢期では「口腔機能の維持・向上」が重要とされています。しかし、まだまだこれらの病気は国民に知られていないのが現状です。



Press Release

そこで大阪大学大学院歯学研究科ではこれらの病気に陥らないようにするために、また陥ってもいち早く回復するためには、まずこれらの病気の「認知度」を高めることが重要だと考えています。そんな認知度を高めるために、楽しく遊びながら「口の機能」の意識付けする「お口の健康（いわゆる「健口」）に関するイベント企画」も1つの手段です。

■地域でイベント：

「お口の健康（いわゆる「健口」）に関するイベント企画」の第1弾として、大学が立地する大阪府吹田市のマスコットキャラクター「すいたん」を用いたスマートフォンアプリを用いて、この9月に同市内のイベントで約 350 人の子どもに健口ゲームとして遊んでもらいました。今回はその第2弾となります。



イベント風景(すいたフェスタ2023)と地元の「ゆるキャラ」を使ったスマホゲーム

■今回のイベント詳細：

【イベント名】 HANAZONO EXPO 2023

【日 時】 11月3日（金・祝） 10：00～16:00

【場 所】 花園中央公園 多目的芝生広場 A199（大阪府東大阪市松原南 1-1-43）

【 URL 】 <https://higashiosaka.hanazono-expo.jp/>

【プログラム】 無料ゲームアプリで遊ぼう！パタカラ健口体操！（「歯」で検索）
<https://higashiosaka.hanazono-expo.jp/programs/page/2/>

【主 催】 大阪大学大学院歯学研究科

【共 催】 株式会社アイキャット（阪大歯学部発ベンチャー企業）

【後 援】 株式会社ロッテ（東京都）



■利益相反の開示：パタカラを発音して遊ぶ健口ゲームアプリ **PaTaKaRUSH**（パタカラッシュ）は、今年で創業 20 周年となる「阪大歯学部発ベンチャー」株式会社アイキャットが開発している製品で、自治体バージョンとして「東大阪市版」に改良しました。